取扱説明書

白熱灯直付器具

取説NO. GH-7-20
5灯シャンデリア

TAKIZUMI　**保存用**

この度はタキズミ照明器具を、お買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくご覧のうえ正しくご使用ください。

安全上のご注意

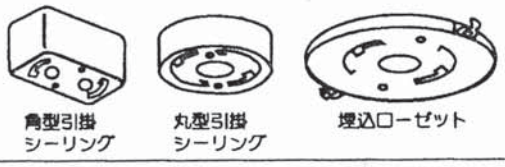
安全上に関する重要な内容ですのでよくお読のうえ、必ずお守りください。誤った使用をした場合、事故等により使用者が重傷を負う危険があるものを『⚠警告』の欄に又、障害を受けたり物的損害の発生が想定されるものを『⚠注意』の欄にまとめてあります。必ず、ご使用時にいつでも読む事のできるところに保存してください。

⚠ 警告		⚠ 注意	
禁止	この器具は非防水です。浴室や屋外などの湿気、水気の多い場所での使用はできません。 ◇火災や感電　絶縁不良の原因となります。	禁止	電球はガラスですので、引きひもを強く当てないでください。 ◇電球が破損し、けがの原因となります。
禁止	器具を改造又は部品を変更して使用しないでください。 ◇感電や火災の原因となります。	禁止	配線器具の取付け工事が必要な場合は、必ず工事店　電気店(有資格者) に依頼してください。 ◇一般の方の工事は法律で禁止されています。
禁止	器具をシンナー等の揮発性のもので拭いたりかけたりしないでください。 ◇変形や割れ、落下の原因となります。	禁止	点灯中や消灯直後の器具やランプは高温になっておりますので手を触れないでください。 ◇やけどの原因となります。
禁止	ランプ交換、お手入れの際は必ず電源を切ってから行ってください。 ◇感電の原因となります。	禁止	点灯・掃除時には、接合部・電球のゆるみ・破損がないかを確認してください。 ◇異常がありましたら、購入店にご相談ください。
注意	電球交換の際は、必ず器具表示及び取扱説明書指定の種類・ワット数の電球をご使用ください。 ◇火災・やけど・故障・変形・変色の原因となります。	注意	器具の汚れは柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから拭いてください。 （水洗いは絶対にしないでください）
注意	器具やランプを布や紙等で覆ったり燃えやすい物を近づけたりしないでください。 ◇火災、損傷、加熱、故障、変形の原因となります。	注意	寒暖の激しい場所でのご使用はしないでください。 ◇感電、節煙不良、ランプ破損、器具内部の結露の原因になります。
	煙・臭い等の異常を感じたら速やかに電源を切ってください。 ◇感電、火災の原因となります。 （電気店又はお買上げ店にご相談ください。）	注意	点灯及び消灯後に音が発生する場合があります。 ◇熱による構成材料の収縮音です。 （ひどい場合は購入店にお申し出ください。）
	電源の接続は本取扱説明書に従って確実に行なってください。 ◇接続が不備な場合、故障の原因となります。	注意	器具や電球に着色等をしないでください。 ◇損傷・加熱・故障の原因となります。

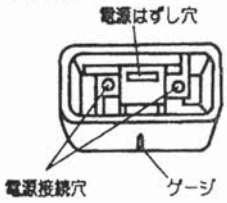
取付け前のご注意

● 引掛シーリングの取付け方

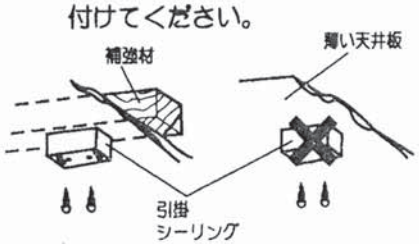
● 天井に下図のいずれかのソケットが工事されていれば取付けられます。



● 電源はゲージに合わせて段むきした後電源接続穴にしっかり差し込んでください。

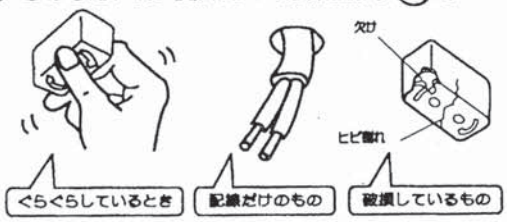


● 引掛シーリング本体を木ネジ2本で天井内の補強材のある位置に取付けてください。



ベニヤ板など薄い天井板へは取付けないでください。器具が落下する恐れがあります。

● このままでは使えない配線器具 ⃠ 禁止

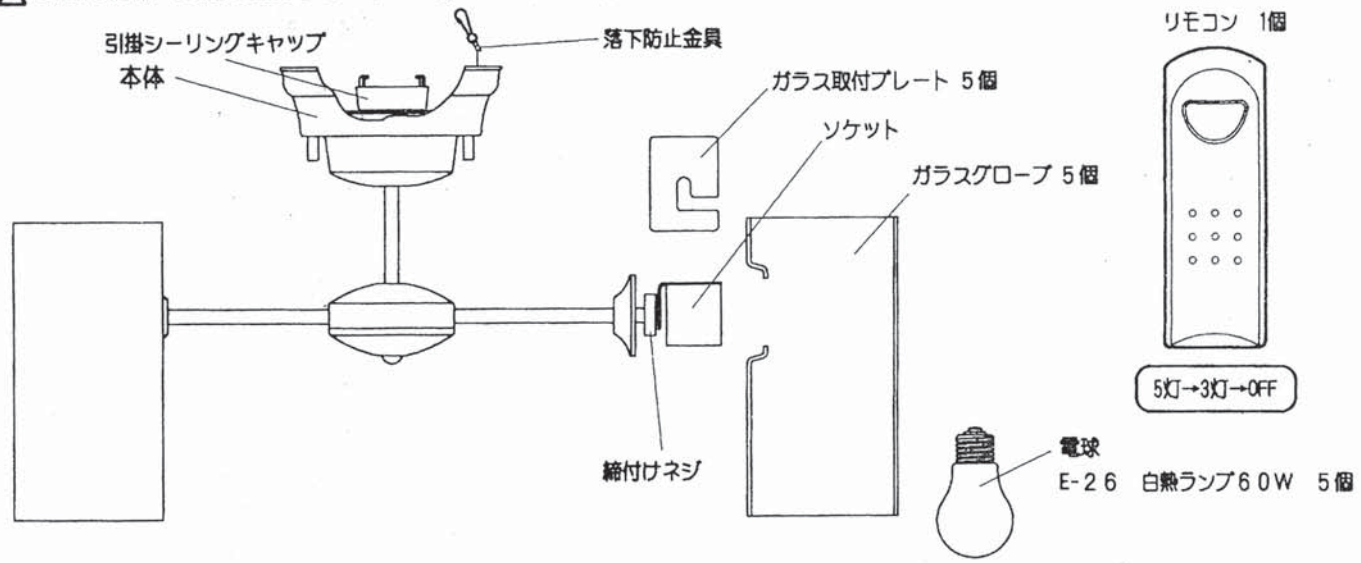


素人の工事は危険です。工事店、電気店へご依頼ください。
（一般の方の電気工事は法律で禁止されています。）

各部のなまえ

●この取扱説明書は同種の器具と共通になっておりますので器具と姿図が違っている場合があります。

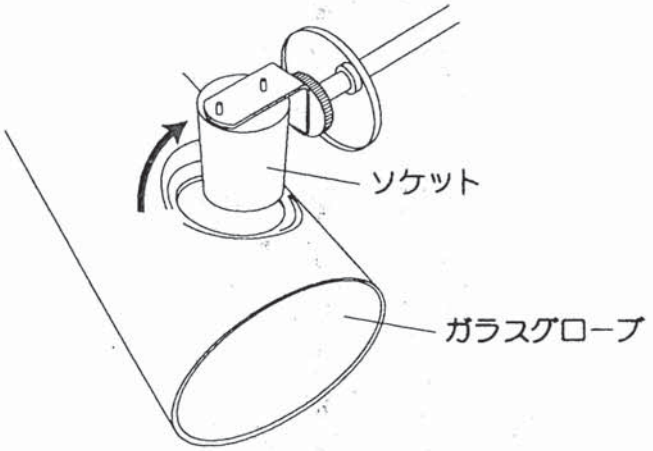
⚠ 部品の有無・損傷を確認しおこなってください。（不備のある場合は取付けないでください。）



器具の取付けかた ⃠ 必ず電源を切ってください。 （一部姿図を省略しております。）

①ガラスグローブを取付ける

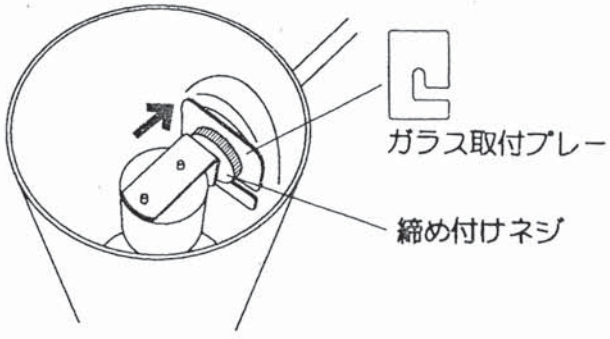
1、ガラスグローブを寝かせ，ソケットに通し取付けてください



※ヒビの入ったグローブや一部欠けているカバーは使用しないでください。
カバー落下事故の原因になります。

2、ガラス取付プレートをガラスグローブと締め付けネジの間にはさみ込み、締め付けネジでしっかりと固定してください。

※必要以上に締め込まないでください。

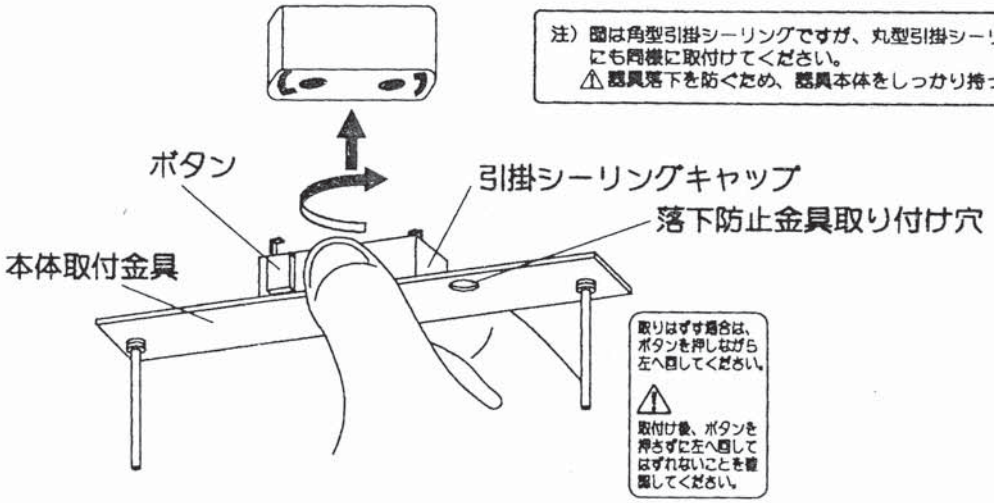


⚠ 確実に取付けているかご確認ください。
ゆるみがあると、ガラスグローブ落下の原因となります。

器具の取付けかた ⊘必ず電源を切ってください。 （一部姿図を省略しております。）

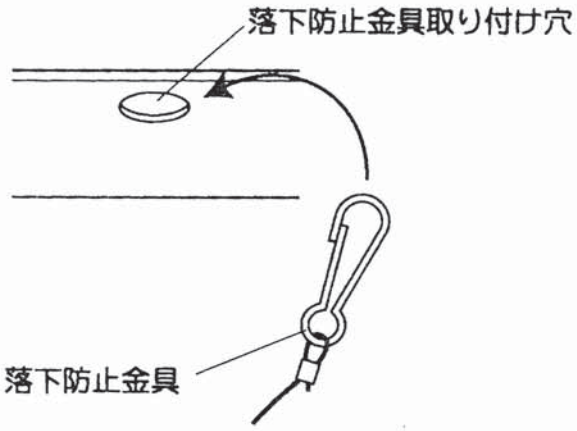
②引掛シーリングキャップを取付ける

天井にあるソケットに引掛シーリングプラグを取付けてください。

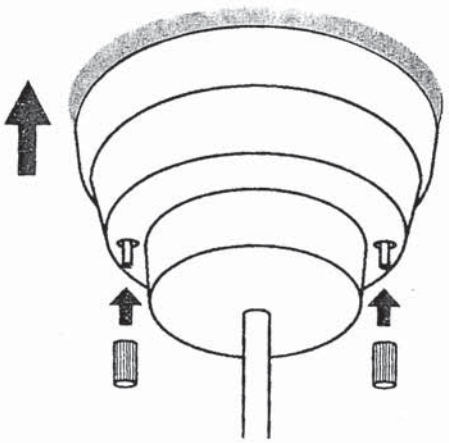


注）図は角型引掛シーリングですが、丸型引掛シーリングや埋込ローゼットにも同様に取付けてください。
⚠器具落下を防ぐため、器具本体をしっかり持って行ってください。

③落下防止金具を取付け、器具本体を取付ける



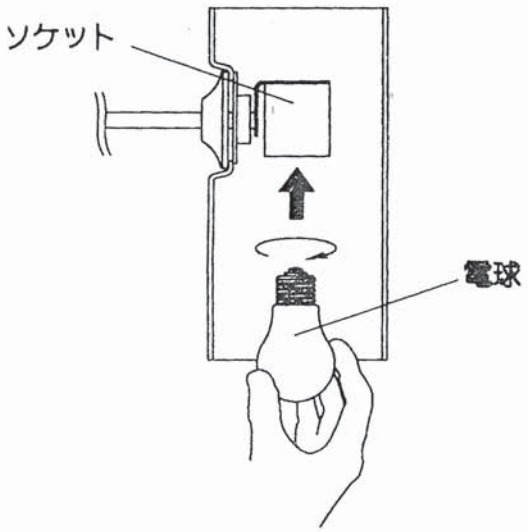
本体取付金具に落下防止金具を取付けてください。



本体を取付け、ローレットナットで固定します。

⚠器具落下を防ぐため、器具本体をしっかり持って行ってください。

④電球を取付ける



電球をソケットにねじ込んでください。

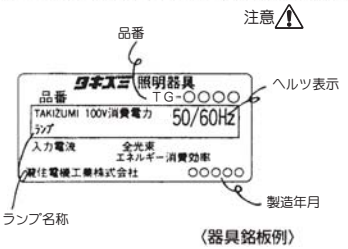
電球交換の際には必ず指定W数の電球をお使いください。

点灯中や、消灯直後の電球は高温で大変危険ですので手で触れないでください。

ご注意とお手入れ

品番・製造年月は器具銘板に記載されています。電球の種類は器具銘板及び下記定格欄をご確認ください。交換用の電球は器具の指定のものを必ずご使用ください。

注意⚠

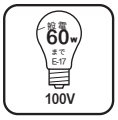


〈器具銘板例〉

日常のランプ交換はランプシールをご覧ください。

指定以上のものを使用すると、器具の故障、過熱や変形の原因となります。

注意⚠



■定　格

	使用電圧	消費電力	周 波 数	使　用　電　球
白熱５灯用器具	１００Ｖ	３００Ｗ	50、60HZ共用	Ｅ－２６普通球　６０Ｗ×5

●この説明書は工事終了後、この器具をご使用になるお客様にお渡しください

タキズミ照明器具保証書

※保証書の記載内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

●本書は、取り扱い説明書に記載されてある通りの正常な使用状態で、保証期間中に故障が発生した場合に、無償で修理させて頂く事をお約束するものです。
万一、保証期間中に故障が発生した場合、本書と商品をご持参の上、お買上げ販売店もしくは当社に修理をご依頼ください。

●お客様欄および販売店名の記載のないものは無効となりますのでご注意ください。
また、本書は大切に保管しておいてください。

●本書は日本国内においてのみ有効です。　This warranty is valid only in Japan.

●ご転居の場合は、事前にお買上げの販売店にご相談ください。

●ご贈答などで本書に記載してあるお買上げの販売店に修理が依頼できない場合にはお近くの当社営業所までご相談ください。

●保証期間内であっても次のような場合は有償修理となります
1.使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
2.お買上げ後落下、輸送等による故障および損傷。
3.火災、天災地変（地震、台風、水害、落雷等）、塩害、ガス害、異常電圧による故障および破損。
4.一般家庭以外（業務用、船舶への取付等）にご使用の場合の故障および破損。
5.ご使用による部品の汚れ。
6.消耗部品の交換（ランプ、グロー点灯管、電池、セード、リモコン等）
7.施工上の不備に起因する故障や不具合。
8.保証書および領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示がない場合。

			備考
品　番			
保証期間		**本体：1年間　安定器：3年間**	
お買上げ年月日			
お客様	お名前		
	ご住所		
	お電話		
販売店名			

商品とお取扱方法については・・・

「お客様相談室」フリーダイヤル **0120-226-544**

受付時間/月～金（土、日、祝日、年末年始を除く）9：00～17：00

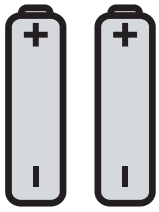
瀧住電機工業株式会社　本　社　〒546-0035　大阪市東住吉区山坂2丁目21番16号

リモコン送信機取扱説明書

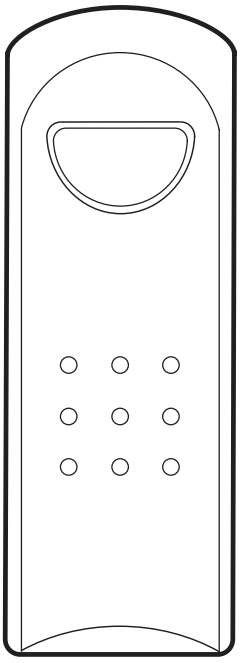
付属部品

リモコン製品には下図の　リモコンユニットが
付属しておりますのでご確認ください。

⚠ 部品の有無・損傷を確認してください。



単三乾電池　２本

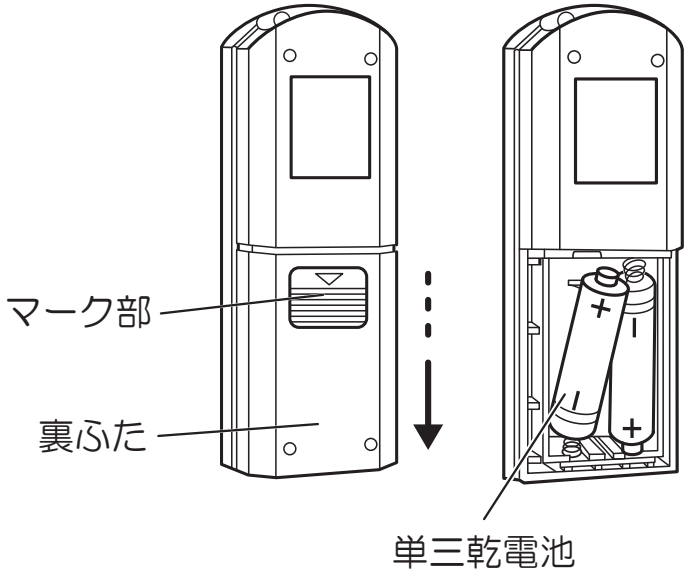


リモコン送信機

リモコン送信機の使い方

①乾電池をリモコン送信機へ入れる。

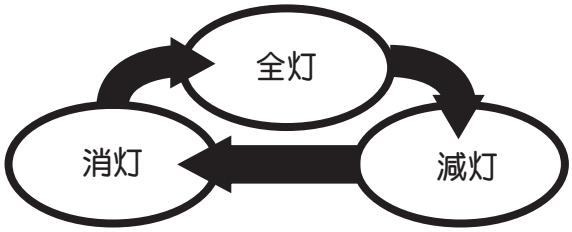
・裏ふたのマーク部を押しながら下へはずす。
・単三乾電池２本を＋、－をよく確かめて入れる。
・裏ふたをしめる。



⚠ 電池交換の際は必ず２本共
交換してください。

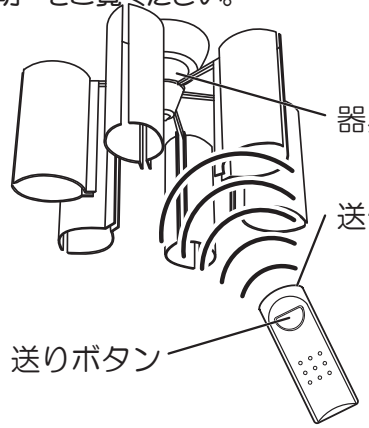
②リモコン送信機を操作する。

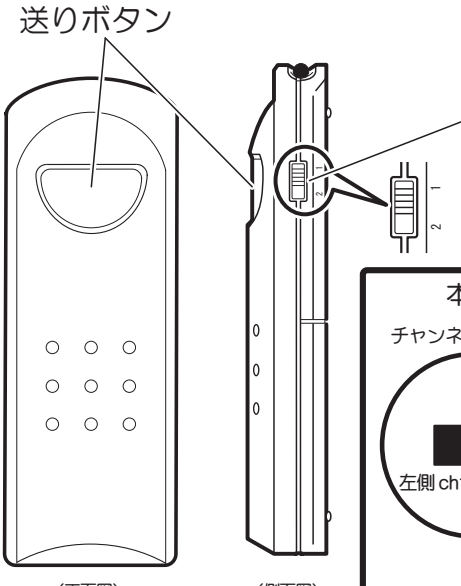
・リモコン送信部を器具本体に向けて
送りボタンを押してください。
お好みの点灯状態に切り替えることができます。



送りボタンを押すごとに上の順序で切り替わります。

・１つのリモコン送信機で、２台の照明器具の
操作をおこなうことができます。
（ただし、当社の同種のリモコン送信機を
使用する場合に限ります。）
詳しくは、本書裏面の’チャンネルスイッチの
機能説明’をご覧ください。



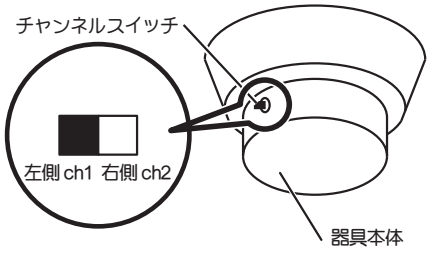


チャンネルスイッチ

２台の照明器具を操作する
場合に使用します。

⚠ 工場出荷時には「ch１」の
設定になっています。

本体側チャンネルスイッチ



⚠ 工場出荷時にはいずれも上図
「左側 ch1」の設定になっています。

リモコン送信機取扱説明書

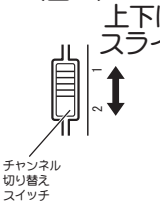
チャンネルスイッチの機能説明

● チャンネル切り替えスイッチの設定

○１台の照明器具だけを操作する場合、送信機のチャンネルスイッチを「１」にして操作する。
（照明器具本体にあるチャンネルスイッチはあらかじめ「１」に設定しています。）

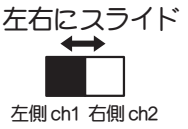
○２台の照明器具を操作する場合、器具本体側のチャンネル切り替えスイッチ（図２）と、
リモコン送信機側のチャンネル切り替えスイッチ（図１）を下表のように設定すれば個別操作や同時操作ができます。

（図１）



リモコン
送信機側

（図２）



照明器具本体側
（天井取付時）

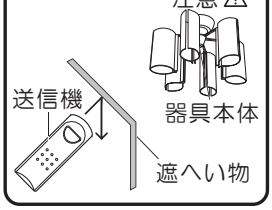
	個別操作		同時操作	
	１台目	2台目	１台目	2台目
器具本体側	左側 ch1 右側 ch2	左側 ch1 右側 ch2	左側 ch1 右側 ch2	左側 ch1 右側 ch2
リモコン側				

⚠ 同時操作の場合、２台の器具の位置関係によってはうまく操作できない場合があります。よく動作を確認してから使用してください。

注）この器具は、リモコンで消灯している場合約２Wの電力を消費しています。
外出などで長期間お使いにならない場合は、壁スイッチをＯＦＦにすることをお勧めします。
また、リモコンで消灯している場合、停電状態から復帰すると全灯点灯状態になります。

ご注意とお手入れ

リモコン送信機と器具の間に遮へい物があると、リモコンが動作しない場合がありますのでその際は遮へい物を避けて操作してください。



長期にわたり、リモコン送信機を使用しない場合は、乾電池の液漏れが原因で故障する恐れがありますので必ず乾電池を取り出しておいてください。

乾電池は半年を目安に取り替えてください。
指定以外のものや新・旧の電池をまぜて使わないでください。
極性表示の通り＋、－を正しく入れてください。

注意⚠

送信部は汚れますと動作しにくくなることがありますので汚れた時は乾いた柔らかい布で拭いてください。 注意⚠

リモコン送信機の電池電圧が低下したり、室温が低い場合は動作しにくいことがあります。 注意⚠

送信機は落としたり、水をかけたり温度の高い所やストーブなどの近くに置かないで下さい。故障の原因となります。 禁止

故障かなと思ったら

現　象	考えられる原因	処　置
ランプが点灯しない	ランプの口金がソケットからはずれている	ランプをソケットに取付けてください
	ランプの寿命	ランプを交換してください
	壁スイッチがＯＦＦになっている	壁スイッチをＯＮにしてください
	ブレーカーがＯＦＦになっている	ブレーカーをＯＮにしてください
リモコンで操作できない	リモコンの電池の寿命	リモコンの電池を交換してください
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れてください
	壁スイッチがＯＦＦになっている	壁スイッチをＯＮにしてください
	ブレーカーがＯＦＦになっている	ブレーカーをＯＮにしてください